



ファイルシステムを搭載した **AIX** ホストデータ **LUN** の移行 ONTAP 7-Mode Transition

NetApp
October 09, 2025

目次

ファイルシステムを搭載した AIX ホストデータ LUN の移行	1
ファイルシステムを搭載した AIX ホストデータ LUN の移行準備	1
カットオーバーフェーズ前の AIX ホスト上の移行した LUN のテスト コピーベースの移行の数	1
AIX ホストデータ LUN 移行時のカットオーバーフェーズの準備 ファイルシステムで実現できます	2
移行後のファイルシステムを搭載した AIX ホストデータ LUN のマウント	3

ファイルシステムを搭載した AIX ホストデータ LUN の移行

7-Mode Transition Tool (7MTT) を使用して、ファイルシステムを搭載した AIX ホストデータ LUN を Data ONTAP 7-Mode から clustered Data ONTAP に移行する場合は、移行の前後に特定の手順を実行して、ホストに関する移行の問題を修復する必要があります。

ファイルシステムを搭載した AIX ホストデータ LUN の移行準備

ファイルシステムを搭載した AIX ホストデータ LUN を Data ONTAP 7-Mode から clustered Data ONTAP に移行する前に、移行プロセスに必要な情報を収集する必要があります。

1. 7-Mode コントローラで、移行する LUN の名前を特定します。

「* lun show *」と入力します

2. ホストで、LUN の SCSI デバイス名を確認します。

「* sanlun lun show *」と表示されます

SCSI デバイス名は、device filename 列に記載されています。

3. 移行するデータ LUN に設定されているボリュームグループが使用する物理ボリュームを表示して記録します。

```
'lsvg -p_vg_name_
```

4. ボリュームグループが使用する論理ボリュームを表示して記録します。

```
'lsvg -l vg_name
```

カットオーバーフェーズ前の AIX ホスト上の移行した LUN のテスト コピーベースの移行の数

7-Mode Transition Tool (7MTT) 2.2 以降および Data ONTAP 8.3.2 以降を使用して AIX ホスト LUN を移行する場合は、カットオーバーフェーズの前に移行した clustered Data ONTAP LUN をテストして、MPIO デバイスがマウント可能であることを確認できます。ソースホストでは、テスト中もソースの 7-Mode LUN への I/O を引き続き実行できます。

LUN を移行できる状態にしておく必要があります。

テスト用ホストとソースホスト間のハードウェアパリティを維持し、テスト用ホストで以下の手順を実行する

必要があります。

clustered Data ONTAP LUN は、テスト時には読み取り / 書き込みモードになります。テストが完了してカットオーバーフェーズの準備を行う段階で、読み取り専用モードに切り替わります。

手順

1. ベースラインデータコピーが完了したら、7MTT のユーザインターフェイス（UI）で「* テストモード」を選択します。
2. 7MTT UI で、* 構成の適用 * をクリックします。
3. テスト用ホストで、新しい clustered Data ONTAP LUN を再スキャンします。

"cfgmgr"

4. 新しい clustered Data ONTAP LUN が存在することを確認します。

「* sanlun lun show *」と表示されます

5. ボリュームグループのステータスを確認します。

lsvg vg_name`

6. 各論理ボリュームをマウントします。

mount -o log /dev/loglv00_file_system_mount_point_

7. マウントポイントを確認します。

「* df *」

8. 必要に応じてテストを実行します。
9. テスト用ホストをシャットダウンします。

'shutdown-h'

10. 7MTT UI で、* テストの終了 * をクリックします。

clustered Data ONTAP LUN をソースホストに再マッピングする場合は、ソースホストをカットオーバーフェーズ用に準備する必要があります。clustered Data ONTAP LUN をテスト用ホストにマッピングしたままにする場合、テスト用ホストでこれ以上の手順を実行する必要はありません。

AIX ホストデータ LUN 移行時のカットオーバーフェーズの準備 ファイルシステムで実現できます

ファイルシステムを搭載した AIX ホストデータ LUN を Data ONTAP 7-Mode から clustered Data ONTAP に移行する場合は、カットオーバーフェーズを開始する前に特定の手順を実行する必要があります。

clustered Data ONTAP ノードへのファブリック接続とゾーニングを確立しておく必要があります。

コピーベースの移行の場合は、7-Mode Transition Tool でストレージカットオーバー処理を完了したあとに以

下の手順を実行します。AIX ホストでは、コピーフリーの移行はサポートされていません。

手順

1. すべてのマウントポイントで I/O を停止します。
2. アプリケーションベンダーの推奨事項に従って、LUN にアクセスしている各アプリケーションをシャットダウンします。
3. すべてのマウントポイントをアンマウントします。

```
'umount_mount_point_`
```

4. ボリュームグループを無効にします。

```
varyoffvg_vg_name_`
```

5. ボリュームグループをエクスポートします。

```
'exportvg_vg_name_`
```

6. ボリュームグループのステータスを確認します。

```
'lsvg
```

エクスポートされたボリュームグループは出力に表示されません。

7. 古いエントリがある場合は削除します。

```
「 * rmdev - RDL hdisk# * 」
```

移行後のファイルシステムを搭載した AIX ホストデータ LUN のマウント

ファイルシステムを搭載した AIX ホストデータ LUN を Data ONTAP 7-Mode から clustered Data ONTAP に移行した場合、移行後に LUN をマウントする必要があります。

LUN を移行したあとも、論理ボリューム名やボリュームグループ名などの論理ボリュームマネージャ（LVM）属性に変更はありません。移行後の設定には、移行前の論理ボリューム名とボリュームグループ名をそのまま使用します。

コピーベースの移行の場合は、7-Mode Transition Tool でストレージカットオーバー処理を完了したあとに以下の手順を実行します。AIX ホストでは、コピーフリーの移行はサポートされていません。

手順

1. 新しい clustered Data ONTAP LUN を検出します。

```
"cfgmgr`
```

2. clustered Data ONTAP LUN が検出されたことを確認します。

```
「 * sanlun lun show * 」と表示されます
```

clustered Data ONTAP LUN が表示され、mode 列の出力が 7 から C に変更されます

3. ボリュームグループをインポートします。

```
importvg-y_vg_name pv_name_
```

ボリュームグループ内の任意の物理ボリューム名を使用できます。

4. ボリュームグループがインポートされたことを確認します。

```
lsvg_vg_name_
```

5. 各デバイスをマウントします。

```
mount-o log=/dev/loglv00_file_system mount_point_
```

6. マウントポイントを確認します。

```
「 * df * 」
```

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。